

# 令和2 授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第2学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	基礎的な読解力や作文力が身につけていない生徒も見られる。	漢字の小テストを継続し定着を図る。授業プリントを工夫して、学習のポイントを捉えさせるとともに「わかる言葉」や「使える言葉」を増やしていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題に応じたレポートの作成などは、工夫をしながら見やすく分かりやすくまとめることができている。意見の発表に関してはモチベーションが十分足りていない状況である。	教材と関連させて、話し合いの場を多く持たせ、自分の考えや意見を適切な言葉を使って表現する機会を増やしていく。
	学びに向かう力, 人間性等	一斉での説明を集中して聞き取る力に欠ける生徒が多く見られる。	主体性を持つことの大切さを啓蒙しながら、注意力を高め、聞き逃しをしないよう、随時言葉掛けを行っていく。
社会	知識及び技能	授業で学習した内容を家庭で復習したり、考査前に学習している生徒は概ね知識・技能の定着が図られている。	①授業で使用しているプリントを必ず記入させ、仕上げる指導を徹底させる。 ②考査前の補習も必要に応じて行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	社会科学的分析・考察・判断・表現力などは、苦手意識のある生徒も多く、未熟である。	①情報を読み取る力、記述で表現する力を育成する教材を開発・作成する。 ②学習内容を厳選し、①を実践する授業時間を確保する。
	学びに向かう力, 人間性等	学習内容に対して、関心・意欲のある生徒とそうでない生徒が見られ、その傾向が学習の成果に明確に反映している。	①学習の必要性を説く。 ②映像資料の充実・活用。
数学	知識及び技能	1年次に比べて、全体的に向上してきている面が見られるが、基本的な用語、計算規則・法則などが身につけていない生徒も少なくない。そのような生徒にいかにつけさせていくかが課題である。	授業や課題、小テスト、定期テストなどを通して反復して取り組む機会を作る。特に基礎コースでは必要に応じて前学年までの学習内容等に立ち返って復習を行い定着できるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	問題内容を読解しなくてはいけない問題や応用的な問題に苦手意識を持っている生徒が多い。粘り強く考えたり、色々な角度から考える姿勢も全体的に弱い。色々な問題や課題を前向きに考える姿勢を育てていく必要がある。	授業や課題、テストなどの中で色々な問題に取り組み、問題をじっくり考えて解決する楽しさや面白さが体感できるような機会を作る。その中で前向きに考えて取り組む姿勢を育てる。
	学びに向かう力, 人間性等	臨時休業中の課題や学校が再開してからの課題や提出物に真面目に取り組む生徒が多い。1年次よりも自分で学習に取り組もうとする生徒が増えてきた。そのような生徒を更に増やし、数学の学びに向かう力を高めていきたい。	数学を特に苦手とする生徒に対し、忘れ物をしない、課題や宿題を提出する、ノートをとるなど、基本的なことが確実にできるように粘り強く指導や支援を行っていく。

# 令和2 授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第2学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
理科	知識及び技能	基本的な概念や原理、法則に関する知識はある程度理解できているが、記述式や発展問題に関する苦手意識が高い生徒も多い。問題演習では分からない問題をそのままにしておく傾向がある。	授業の初めに前時の振り返りの時間を設けていく。板書記録やテスト直しの際に、関連づけて内容を理解させ、知識を定着させられるように個別の学習アドバイスの機会を増やしていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいをふまえて仮説を立てること、見通しをもって取り組むこと、得られた結果から自ら考察し、答えを出すことに対して苦手意識がある。</li> <li>・4人組の学習班でのホワイトボードを活用した話し合い活動では、活発に意見交換できる生徒も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそうなるのか、見通しを立てるための時間と、結果から考察するため時間を十分に確保して授業展開を図る。</li> <li>・話し合いで投げかける内容をより吟味し、質の高い学習を心がける。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察に対して興味、関心がある生徒が多い。</li> <li>・学習した内容と、身近な自然現象を結び付けて考えていけるようにさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に使い、主体的で対話的な学びを意識していく。</li> <li>・頑張る生徒の取り組みを積極的に紹介する。</li> <li>・学んだ知識がどのように暮らしや社会につながるのかを意識した学習のまとめを行う。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	楽譜の中に出てくる音楽用語を理解している生徒が半数程度いるが、曲の表現に生かすことができていない。	授業内で復習する時間を増やし、ワークシートなどで知識・技能の定着を図る。
	思考力, 判断力, 表現力等	鑑賞教材では楽器の特色を知り、どのように表現されているかを理解している。しかし曲についての課題を文章として表現することが苦手な生徒が多い。	鑑賞曲や楽器をポイントに分けて説明する。DVD（視覚）やCD（聴覚）などを用いてわかりやすく指導する。
	学びに向かう力, 人間性等	いろいろな曲に挑戦したい、経験したことのない楽器を演奏してみたいなど意欲的に学ぼうとする生徒が多い。しかし音楽に苦手意識があり意欲的に取り組めない生徒もいる。	学び合う・教え合う・一緒に演奏をする活動を取り入れて、協力していく中で音楽を楽しむことができる指導をしていく。
美術	知識及び技能	工夫して創造的に表す技能はあるが、イメージや作風を捉えるなどの知識理解は難しいところがある。	細かく段階を踏まえて知識が理解できるように、ワークシートや展開を考えていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	思考力や発想力が乏しい生徒が多く、円滑にアイデアスケッチができない生徒が多い。	発想できるように参考資料を用意している。今後のために、豊かに発想ができるように、イメージマッピングなどの発想・構想を行う方法を授業内で学習させていく。
	学びに向かう力, 人間性等	意欲的に取り組む生徒もいれば、そうでない生徒もいる。学級ごとの差がある。	制作のための作品鑑賞は主体的に取り組む生徒が多い。授業内容を生徒の興味に合わせて、学級ごとに微妙に変化をつけて展開していく。

# 令和2 授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第2学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
保健体育	知識及び技能	体力や技能を向上させるために、意欲を持って活動している生徒が多い。一方で、身体の動かし方のコツを身に付けることが難しい生徒もあり、技能に大きな差がみられる。	I C T機器を活用し、理解を深める。動作の知識を覚えることで、動きを見たり行動を変化させていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	指示に対して、きちんとやろうとする姿勢が見られる。お互いを高め合うためにアドバイスをしようとするのが少し不得意である。	記録会や技能テスト、学習カードでの振り返りを活用し、自己の課題を明確にさせる。また、生徒同士の話し合いの時間を多くとり、生徒主体で課題解決できるように指導していく。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことや、各運動に対する興味が高い。単元によって取り組む姿勢が変わる生徒がいる。できることには意欲的に取り組む。	「できた・わかった」という実感を多く得て、次の学習への意欲を高められるよう指導していく。授業規律を確立させ、安全に授業が行えるようにしていく。
技術・家庭	知識及び技能	生徒の作業の効率化を考えていたが、食生活の知識・保育・手芸や機械の仕組み、技能の習得のための時間確保が必要である。	グループワークや振り返りカードを活用して次の授業につなげる。
	思考力, 判断力, 表現力等	バランスの取れた献立を工夫することなく立ててしまったり、ていねいな作品作りができず雑な仕上がりにってしまう。	発想をまとめるポイントや仕上がり为例示し、完成イメージをもたせる。
	学びに向かう力, 人間性等	消費社会の問題や情報社会での関心を自身の日常生活に結び付けられていない。	授業で学んだことを生活の中で役立てて、柔軟な発想と豊かな生活を送る方法を考えさせる。
英語	知識及び技能	単語のつづりミスも多く、文法的なことも完全に理解できるまでの反復練習が不足気味である。演習問題も面倒くさがる傾向が強い。	単語テストの実施や小テストの実施等でこまめに様子を把握する。
	思考力, 判断力, 表現力等	少しずつ英作文も長く書けるようになってきているが、少し難易度があがると取り組めない傾向もある。	毎時間、音読に力を入れていく。英作文の練習のもとになるワークの自己表現を充実させ、日々の授業に取り入れていく。
	学びに向かう力, 人間性等	素直に取り組める生徒や、向学心のある生徒も多いので、お互いに刺激を与えながら取り組んでいる。	定期的にスピーチの機会を作り、原稿作成を通して書く力をつけていく。
道徳	道徳的な感じ方・考え方や行為（道徳的心情）	それぞれの項目のねらいとなる心情理解は概ね出来ている。しかし、題材を読むときに文章に出ている言葉の意味が理解できないという根本的な問題も感じる。	自分自身や自分に関係する周囲の人とのかかわりを意識させていく。
	道徳的な問題場面で思考し判断する力（道徳的判断力）	自分の考え、友達の考えを共有し考えを深めている。	より具体的な場を想定して、他者がどのように考えているかを知る
	道徳的によりよく生きようとする傾向性（道徳的実践意欲と態度）	自分のことに置き換えて考えてみることなどに課題がある。	授業の中で考えたことが日常生活で行動を伴った実践につながるように授業の工夫を図る。

# 令和2 授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第2学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
特別活動	知識・技能□	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己肯定感を高め、集団活動をしていくための知識やアイデアをもたせていく必要がある。</li> <li>行事がほとんど中止になっていく中で、技能を高めることは困難だったが、意識や知識を高めることは重点的に行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会の主体になったことを意識付けし、委員会活動をより積極的に、活発にしていく。</li> <li>担任の話や学級通信、学年通信等を活用しながら、意識を高めるとともに幅広い知識を身に付けさせていく。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに注意し合える関係性がまだまだ不足している。集団の捉え方がまだまだ未熟である。</li> <li>行事がなくなったことにより、判断や表現といった力は育てることが厳しい状況だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年同様、学級力アンケートを活用し、学級や自分自身の生活の充実や向上のために、自分たちから進んで現状把握を行わせる。</li> <li>解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしていく学級会の質を高めていく。</li> </ul>
	主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年同様全体的に明るく素直な集団だが、自己肯定感が低い。何か問題が起きたときに報告できる力や集団生活を皆で高めようとする意識はまだまだ不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何事にも役割分担をもたせ、責任をもって行動させていけるよう、意図的に環境設定していく。当事者意識をもって取り組ませる。生徒の活動を認め、賞賛していく。</li> </ul>
総合的な学習の時間	課題設定の能力と主体的な学習の態度	個人で課題を設定する知識や技能が乏しい生徒がいる。具体的な例をあげながら、教員側でいくつかの課題を示しつつ、個人に選択させる形から発展させる形が良い。	1日勤労体験や職業調べなど、身近な問題を取り上げながら、キャリア教育内容と関連付けて設定させていく。
	問題を解決する資質や能力と発表する力	ある程度の手順や、方法を示すと判断力をもって取り組むことができる一方で表現力が乏しい生徒も少なくない。	日常的に個人や班活動で発表する機会をもてるようにする。
	自己を理解し、職業や将来の生き方を考える力	将来のことを考える力は育っていない。コミュニケーションが苦手な生徒も多い。班面接を実施したり、班活動での人間関係づくりから始める必要がある。	キャリア教育と関連付けて、自分自身の将来を考える機会を多く設定していく。また個別に適切な助言も与えていく。